

大がいに

市の人口

人口	451,739 (増311)
男	221,730 (+206)
女	230,009 (+105)
世帯数	142,840 (+53)

56年1月末現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀町1番町
電話 代表 (281)1000
編集人 高橋甲子
(担当市民生活部長兼庶務課長)
印刷所 第 一 印刷所

発展する 拠点都市へ 都市基盤整備に全力を 川上市長の施政方針演説(要旨)＝3月議会

市民生活優先をさらに推進 — 高速交通時代等に対処 —

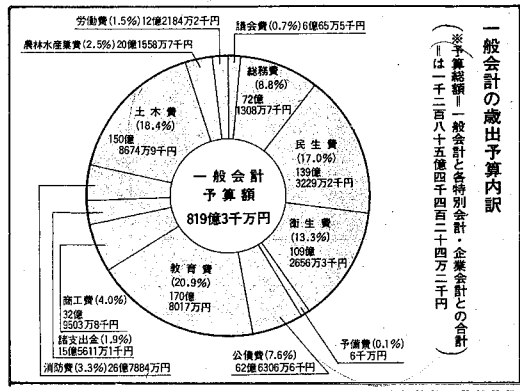
市は去る五日から開かれた三月定例会議に、昭和五十六年度の一般会計予算案、予算額八百十九億三千円、ならびに各特別会計・企業会計予算案などを五十議案を提案しました。

川上市長は、議案の提案に際し、「さらに市民生活優先の施策を進めるとともに、日本海沿岸の拠点都市として、たくましく発展するために必要な都市基盤整備を今後とも積極的に行い、進んでいかなければならない。」「」

また、五十六年度市政への基本的な考えを明らかにし、本特号では、その施政方針を一面に、予算案からみる新年度事業の要を二、四方面で紹介します。

わが新潟市は昨年人口四十五万人を突破し、上野新幹線は大阪発とはいいいよいよ、北陸・関越自動車道の延長と相まって高速交通時代を迎えることになったのであります。

また、対岸諸国との経済、文化と各面にわたる交流は、ハバロフスク、ハルビン両市との友好、姉妹都市を軸とし、また、対岸諸国との経済、文化と各面にわたる交流は、ハバロフスク、ハルビン両市との友好、姉妹都市を軸とし、また、対岸諸国との経済、文化と各面にわたる交流は、ハバロフスク、ハルビン両市との友好、姉妹都市を軸とし、



一般会計は 八百十九億三千円 前年度に比べ7.6%増

以上述べましたことを念頭に、づく行政計画の内容との関連に置きながら、昭和五十六年度当初予算の編成作業にあたり、昭和五十六年度が国際競争年であることへの対応などについても相変らずに意を用いたものであります。

その結果、一般会計予算案は前年度当初比七・六%増の八百十九億三千円、これに各特別会計および企業会計を加えた総予算規模は、一千二百八十五億八千円となったのであります。

その際、生活環境整備に基



川上市長が施政方針を語る

相当の前提を確保することができ、これによって社会資本も逐次全域に渡って充ちつつあり、と見ておられるところ、同時に、日本海沿岸の拠点都市として、たくましく発展するため必要とされるより、ゆる都市基盤整備、すなわち

公共下水道、街路、橋梁、駅南開発、流通センターなどの諸事業も着実に進んでいっていると見ておられるところ、同時に、日本海沿岸の拠点都市として、たくましく発展するために必要な都市基盤整備を今後とも積極的に行い、進んでいかなければならない。」「」

しかし、もち論、未だ十分とは言えないのであり、今後とも可能な限りの努力を続けなければならないと考えます。

「一方、この新潟のまちづくりにおいて市民の意識、役割分担についての意識が生まれ、着実に育つてきていることに對しては、私は心からこれを喜び、その成長を願うのであります。」

これこそ地方の時代表現の必須の前条件であるからである。

厳しい財政環境の中 財源不足を縮減

重点的・効率的に事業配分

御承知のように、明年度の地方財政計画は概ね同一

基礎的というところで、経費については極力削減する一方、税制改正等により財源の確保を図り、投資的経費なかも地方法単独事業については、財源不足の危険を確保しつつ、財源不足の状況を昨年引き続き大幅に縮減しておりますが、依然厳しい状況にあるといわざるを得ないであります。

このような状況のもとで、明年度の歳入を見積りますと、市債に比べて一・七%増を見込み、また地方交付税の見込みも、五十五年度交付税額を若干上回る額を期待、一方市債については引き続き単独的起債の活用を図ることとなる見込みです。

このように、明年度の地方財政計画は概ね同一

基礎的というところで、経費については極力削減する一方、税制改正等により財源の確保を図り、投資的経費なかも地方法単独事業については、財源不足の危険を確保しつつ、財源不足の状況を昨年引き続き大幅に縮減しておりますが、依然厳しい状況にあるといわざるを得ないであります。

このような状況のもとで、明年度の歳入を見積りますと、市債に比べて一・七%増を見込み、また地方交付税の見込みも、五十五年度交付税額を若干上回る額を期待、一方市債については引き続き単独的起債の活用を図ることとなる見込みです。

新市庁舎は陸上競技場へ 四月には建設準備室を発足

〈行政組織の一部改正も〉

次に行政組織について申し上げたいと思います。

行政組織を申し上げるまでもなく、いかに合理的に、機能的に行政が執行されるか、また、たえず変化する市民のニーズとも対応しなくてはならず、そのあり方は極めて重要なことであり、この観点に立つて種々検討を続けていたところであります。

当面は、市民企画部を強化し、建設局の事業執行における責任体制をより明らかにするため部制をとると、必要と認められることとしたのであります。

私はこの際、検討を続けておりました市庁舎建設について、改めて考えます。

本問題については、かねてから検討を続けていたものであり、議会におかれても特別委員会を設置して検討されてきたところであります。

本問題は本市にとって、いかに重要なことであるべきであり、市民の意志をくみながら今後とも議会と十分協議しながら進めたいと考えております。

行政計画実現に努力

都市懇の提言

できるだけ尊重 今後さらに検討

私は一昨年度、市内在任の有識者の方々に依頼して、発展する新潟市の好ましい将来像を描いていただくべく都市問題懇話会を発足させたのであります。本年一月「あすの新潟——二十年後を展望」と題して、その提言の示す方向内容について、ご意見を伺ったのであります。

市庁舎建設の時期、資金計画、現行会跡地の処理など諸般の準備に入りたいと考えているところであります。

本問題は本市にとって、いかに重要なことであるべきであり、市民の意志をくみながら今後とも議会と十分協議しながら進めたいと考えております。

市庁舎建設の時期、資金計画、現行会跡地の処理など諸般の準備に入りたいと考えているところであります。